次代への挑戦!

変革を成長へ——。次世代を見据えた成長戦略。

株式会社 近藤商会
竹谷 淳一 代表取締役副社長に聞く

オフィス改革、DX、AI活用を推進し、創業100周年に向けた持続的成長の礎を築く

2027年6月に創業80周年を迎える株式会社近藤商会。2017年の創業70周年を機に、本店オフィスのリノベーションに着手した。約10年にわたり段階的に進め、働き方や営業活動の変革を支える原動力としてきた。今年10月には、集大成となる1・2階のリニューアルを実施。事業環境の変化を見据え、オフィス改善とDXを両輪としたオフィス改革を続けている。同社が目指すのは、単なる職場環境の改善ではない。自ら『Kond Style＝新しい働き方』を実践し、そのノウハウを顧客への提案に生かす。それによって、企業としての競争力を高めることにある。2026年9月24日付で代表取締役副社長に就任した竹谷淳一氏に、これまでの改革の成果と今後の経営方針、創業100周年を見据えた成長戦略を聞いた。



1 オフィス改革の成果を企業価値の向上へ

ー創業70周年を機に始まった本店リノベーションは、今年10月のリニューアルをもって集大成を迎えました。その目的と今後の展望についてお聞かせください。

当社のオフィス改革は、2017年の創業70周年記念事業として始まりました。当初整備した「みなくるホール」は、訪問型営業から集客型営業へ転換した象徴です。お客様に実際にご来社いただき、『KondStyle＝新しい働き方』を体感していただくことを目的としました。コロナ禍には、インサイドセールスを加速させるオンライン専用ブースを整備。アフターコロナには、部署の垣根を越えた連携を生み出し、生産性向上につなげるフリーアドレスやミーティングスペースを拡充しました。このように、オフィス改善とDXを掛け合わせながら、社会環境や働き方の変化に合わせ、毎年計画的にアップデートしています。

こうした取り組みは、単なる設備更新や職場環境の改善が目的ではありません。継続してきたリノベーションは「コスト」ではなく「経営投資」。事業の成長と具体的な成果へ結び付けることが、今後の経営における重要な責務だと認識しています。

当社が自ら実践してきたオフィス改革のノウハウを、お客様が抱える課題の解決に生かし、提案力の強化と事業の発展につなげてまいります。

2 DXと健康経営による経営体質の強化

ーDXの推進と健康経営を、経営上どのように位置付けていますか。

当社のDXの本質は、人口減少に伴う地方マーケットの縮小を見据え、デジタル技術を駆使して「一人当たりの生産性を高め、少人数でも最大の成果を上げる」事業体制を確立することにあります。

当社のDX改革を象徴するのが、2007年に社長の相川が着手した「アスクル事業」への転換です。オフィス用品の仕入れ・販売や自社配送を軸とした人海戦術の訪問営業から、インサイドセールス主体の営業体制へと転換し、全国をマーケットとするビジネスモデルへ業態を変えました。

あわせて、年功序列型の人事制度を見直し、新しい営業スタイルに合わせ業績への貢献度に応じて評価する仕組みを整えました。

また、デジタル活用によるペーパーレス化の推進や、コロナ禍以前より導入したテレワーク制度など働く環境の改善にも取組んでまいりました。

こうした一連の改革によって、社員数は160名から50名へとスリム化する一方、売上はピーク時と同水準を維持。一人当たりの生産性を大きく高め、安定して収益を確保できる事業体質へと変革しました。

これらの取り組みが評価され、経済産業省『DXセレクション2025』準グランプリを受賞。続いて、経済産業省2025年度『はばたく中小企業・小規模事業者300社』にも選ばれました。

一方、社員の健康を大切にする姿勢は、「健康経営」という考え方が広く認知される以前から、当社が重視してきたものです。

社員が心身ともに健康で、それぞれの能力を十分に発揮できることは、企業活動を支える重要な土台です。働きやすい職場環境の整備と生産性の向上を両立させ、企業の持続的な成長につなげていきたいと考えています。

3 AI活用による業務変革と付加価値の創出

ー現在はAIの活用にも注力されています。今後の事業運営にどのように生かしていくお考えでしょうか。

今年7月より本格的に生成AIやAIエージェントを導入し、業務の効率化と生産性の向上に取り組んでいます。当社が導入したAIは、誰でも使える無料のチャットAIとは違い、セキュリティを確保した専用の環境で運用しています。社内の情報を安全に参照できる仕組みを整え、社員同士がデータや成果物を共有しながら活用できるようにしています。

具体的な活用例は、営業提案資料の作成、調査・分析、大量データ処理、バックオフィスの定型業務自動化、文書作成など多岐にわたります。多くの時間を要していた作業を効率化し、社員がより付加価値の高い業務に注力できる環境を目指しています。

一方で、AIが生成した情報には、正確性を確認し、適切に判断するスキルが欠かせません。技術の進歩を業務の変革につなげると同時に、使いこなす社員の能力向上にも取り組む。それが、今後の企業競争力を高める上で重要だと考えています。

4 人を軸にした経営で、創業100周年とその先へ

ー代表取締役副社長への就任、そして来年の創業80周年、創業100周年を見据え、どのような企業像を描いていますか。

1998年に一社員として入社した私が、プロパー社員として初めて代表権を持つ役員に就任したことには、大きな意味があると思っています。これまで営業をはじめ、さまざまな業務や役職を経験してきました。だからこそ、社員が目標を持ち、努力を重ねることで経営を担う道も開ける。そうした可能性を広げる道筋を示せたらと考えています。

そして、社長の相川から受け継いだ経営哲学と『KondStyle＝新しい働き方』を、具体的な成果として次世代へバトンをつないでいくことが、私の使命です。

2027年6月19日には創業80周年を迎えます。大事な節目ですが、その先にある元気な100年企業に向けた一つの通過点に過ぎません。

当社の経営理念は、『全社員の物心両面の幸せを実現する』ことです。AIをはじめ技術が進化しても、お客様の課題に真摯に向き合い、信頼関係を築くのは、あくまでも人です。だからこそ、社員の人間力を磨き、組織の総合力を高めてまいります。そして、社員が仕事に誇りを持ち、毎日出社するのが楽しみな会社であり続けます。

いま、私たちは様々な難局に直面しています。このような社会環境の変化をチャンスと捉え、前向きに挑戦を続け、『オフィスのことなら近藤商会』と真っ先に頼っていただける存在を目指します。そして、プロダクト販売を通じて、これからも世の中に必要とされる会社であり続けたい。それが私たちの原点です。

お客様、社員、株主、お取引先様、地域の皆様。近藤商会に関わるすべての方が幸せになれる会社を目指し、社員一丸となって取り組んでまいります。



2026年10月リニューアル

[会社概要] **株式会社 近藤商会**

■設　立：1947年
■資本金：2,000万円
■業　種：オフィス用品販売業
■代表者：相川　良夫
■住　所：函館市西桔梗町589
■電　話：0138-49-3311
■URL：https://www.kond.co.jp

■企画・制作／函館新聞社 営業局

参加無料
事前申込制
オフィスまるごと DXフェア vol.5
リアル開催
2026.11.27(金) [入替制] 10:00~17:00
場所：株式会社近藤商会 函館本店 みなくるホール
出展ブース
ミニセミナー
オフィスツアー
何から始める？オフィスの DX。
AI 活用・情報漏えい対策から、仕事のムダ削減まで。「次の一手」が見つかる１日。
情報セキュリティ対策×ITソリューション×働き方改革
下記６社含む、全１０ブースが出展！
アスクル株式会社 オフィス用品・購買調達支援
株式会社イトーキ オフィス環境・空間ソリューション
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 セキュリティ対策・複合機
株式会社オービックビジネスコンサルタント 奉行シリーズ・業務効率化
JAPAN AI 株式会社 生成 AI 活用・業務効率化ソリューション
LINE WORKS 株式会社 ペーパーレス・AI 帳票読み込み Paperon
主催 株式会社 近藤商会
ご来場・アンケート特典 ご回答者様へ記念品進呈！
TEL.0138-49-3311
北海道函館市西桔梗町589番地
ks-seminar@kond.co.jp
お申込みはこちら